

平成28年度第1回東成区区政会議 にぎわい・きずな部会 会議録

1 開催日時 平成28年6月17日（金） 14時から15時30分まで

2 開催場所 東成区役所 3階301会議室

3 出席者の氏名

【委員】

松山 正樹（にぎわい・きずな部会議長）、市田 稔子、梅本 千代子、岡坂 明、北岸 佳子、新家 裕子、田中 倬雄、細谷 悦子、吉田 五郎

【東成区役所】

森本 万喜子（東成区長）、木口 剛一（東成区副区長）、足立 幸彦（総務課長）、中須賀 孝（総合企画担当課長）、原 敏浩（市民協働課長）、鎌塚 隆男（まちづくり担当課長）

4 委員に意見を求めた事項

（1）平成27年度東成区運営方針の振り返りと今年度の主な取組について

（2）部会で議論するテーマについて

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○中須賀課長 にぎわい・きずな部会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

私は、進行を務めさせていただきます東成区総合企画担当課長の中須賀でございます。

着席にて進めさせていただきます。

最初に、本日の開催状況でございます。

委員 16 名中 8 名のご出席をいただいているため、本部会は有効に成立している旨、ご報告申し上げます。

次に、本部会の公開についてでございますけれども、区政会議に準じて公開となっております。議事録や写真等につきましても、ホームページ等で公開していく予定でございます。その点ご理解のほどをよろしくお願いいたします。

もう一点お願いでございます。

携帯電話等につきましては、電源をお切りいただきますか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。

資料の方はもう先ほど確認させていただきましたので、もう早速始めさせていただきますと思います。

最初に、区長の森本よりご挨拶をさせていただきます。

○森本区長　皆さん、こんにちは。暑い中、またお忙しい中、ありがとうございます。本日は、平成 28 年度の第 1 回目の区政会議のにぎわい・きずな部会ということで、平成 27 年度の運営方針の振り返りについてご評価をいただくということと、それから、これは昨年からやっているのですが、皆様方の貴重なご意見をいただける機会でございますので、各部会ごとにテーマを決めていただきまして、少し先を見ながらご議論をいただいて、うまくいけば、例えば、その翌年度の予算であるとか、将来のビジョンとか、そういうことに活かさせていただきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。昨年度もやはり東成区にはにぎわいづくりが必要かなということで、そういうテーマでご議論をいただいたと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

場合によっては、まち歩きをしてみたり、何か皆さんで学習をしてみたりというようなことも行ってはどうかなと思っております。本日もどうぞ忌憚のないご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○中須賀課長　それでは、松山部会議長に今後の議事運営をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○松山議長　皆さん、こんにちは。

にぎわい・きずな部会の議長を務めさせていただいております松山でございます。どうかよろしくお願いいたします。

それでは、早速ですけれども議事に入ってまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

着席させていただきます。

本日の議題でございますけれども、議題の第１といたしまして、今区長からもお話がありましたように、平成２７年度の東成区運営方針の振り返りと今後の事業についてということでございます。もう一つ、議題２といたしまして、部会で議論するテーマについてを予定をいたしております。

まず、議題１についてでございますが、区役所より説明を受けた後、委員の皆さんからご意見やご質問をお受けいたしたいと思っております。また、その後、議題２について、部会で議論するテーマについても話し合いたいと思います。

短い時間でできるだけ多くの委員の皆さんにご意見をお聞きしたいと思いますので、円滑な進行にご協力をよろしくお願いいたします。できるだけ前向きなご意見をいただき、有意義な時間にしてまいりたいと思っています。

それでは、区役所より説明をできるだけ簡潔にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○原課長　それでは、議題１の昨年の振り返りと今年度の主な取組みについて、ご説明いたします。

お手元の資料の６ページをご覧ください。

課題ごとの取組み実施状況ということで、このにぎわい・きずな部会では、安心・安全と、まちの魅力向上について取り扱っております。

まず、6 ページ、安心・安全でございます。防災・防犯、資料の6 ページの中段のところ、具体的取組1 - 1 - 1 地域防災対策の支援、こちらをご覧ください。

最初に、平成27年度の業績目標なり、実績を掲げております。地区の防災計画をそれぞれ地域の特性に応じた計画を策定しようということと、避難所の運営訓練の支援に取り組むということでございました。昨年度は5地域で素案を作成しまして、おおむね業績目標を達成しているところでございます。

平成28年度、一番下の枠囲みのところですが、平成27年度を取組みを引き続き行いますとともに、新たに協力企業の登録制度を始めまして、企業の協力を仰ぎながら地域防災に役立てていこうということを今年度取り組んでまいります。

続きまして、7 ページ、防犯でございます。平成27年度の業績目標は区が取り組む防犯の活動を知っていると回答した区民の割合50%以上という目標で取組みを進めてまいりました。それについては、区民モニターのアンケートによって86%の方がご存じだということで、業績目標を達成しております。区内の街頭犯罪につきましては、ここに数字が出ておりませんが、一昨年の777件から昨年は710件ということで、マイナス8.6%という状況に至ったところでございます。

今年度は、昨年度を取組みを踏まえまして、効果の高い防犯カメラを設置していこうということを考えております。

防犯カメラにつきましては、区役所の独自予算での設置と、それから、大阪市全体として市長の取組みとして市内全体で1,000台を3年間で設置していこうということもございますので、市の取組み、区の取組みを合わせて連携させながら取り組んでいくところでございます。

次に、ページが少し飛びます。

11 ページをご覧ください。

課題3のまちの魅力向上でございます。

まず1つ目が具体的取組3 - 1 - 1 地域活動協議会に対する支援ということで、こ

れは地活協の地域運営に満足している区民の割合 60%ということを目標に掲げまして取組みを進めてまいりました。結果的には 58%ということで、おおむね業績目標を達成したところでございます。

あわせて、次の 12 ページもご覧いただきたいのですが、12 ページの一番上でございますけども、こっちは地域コミュニティの支援ということで、いわゆるまちづくりセンター、中間支援組織を通じて各地活協の支援をしていくというところでございます。

その平成 28 年度の実績内容というところをご覧いただきたいんですが、地活協への支援や地域情報の発信、交流会や勉強会を開催するというふうに書いております。既に今年度になりまして、例えば、深江地域で港区の南市岡地域、鶴見区の榎本地域というふうな取組みが進んでいる地域との交流会を開催したり、それから、区内では、先日でございますが、本庄校下の 3 地域、今里、中本、東中本、この 3 地域が集まりまして、3 地域での連携、特に防災での連携、本庄中学校の避難所の運営についてどうしようかというようなことも含めまして議論が進んでいるところでございます。このように、他地域なり、地域間との交流を積極的に促進しまして、より地域活動協議会の取組みが進むようにことしも支援していくところでございます。

その下、12 ページの真ん中でございます。

東成区の地域資源の活用、業績目標については、ひがしなり街道玉手箱の参加団体数が 90 団体というのを目標にいたしまして、昨年度は参加団体数が 97 団体でありまして、行政目標を達成いたしました。平成 28 年度、今年度につきましても、多様な主体と地域とがつながれるひがしなり街道玉手箱を開催するという方針で進んでおります。

13 ページの上をご覧ください。

市民活動団体との協働による課題解決ということで、これは協働型の事業委託によって地域課題の解決の手法を確立した件数 2 件、これを目標に取り組んでまいりまし

た。結果的には一人一人の色の見え方が違うという色覚の課題を取り扱った1件と、もう一件の計2件を業務委託しまして、行政目標を達成したところでございます。

今年度につきましても、公募型の提案委託事業として募集する予定でございます。

それから、真ん中のところです。

ふれ愛パンジーまちづくり活動支援事業、これの昨年度の業績目標は、この補助金を活用する団体が2つ以上というので、結果的には今里フォークジャンボリーと、それから、どない屋本舗のコミュニティスペースのオープンと2つの団体に対する補助金の執行を行いまして、業績目標を達成したところでございます。

今年度につきましては、総額50万円の予算としまして、5月から今ちょうどこの補助金について募集中でございます。

次の14ページをご覧ください。

モノづくり次世代育成支援事業でございます。

東成区がモノづくりのまちであるという認識が深まった区民の割合、50%以上を業績目標に取組みを進めてまいりました。結果的には、わが町工場見てみ隊やモノづくり体験フェスタ、それから、ここには記載しておりませんが、動画で区内の工場を紹介するファクトリーツアーなども作成しまして、結果的には、区民のその割合が87%になったということで、業績目標を達成したところでございます。

今年度につきましても、引き続きモノづくりを通じて次世代を担う人材育成に取り組むとしておるところでございます。

昨年度の振り返りと今年度の主な取組みにつきましては以上でございます。よろしくお願いいたします。

○松山議長 どうもありがとうございました。

ただいま区役所の方から平成27年度の振り返りと今年度の事業について、区の説明がございました。

安全・安心について、それからまた、まちの魅力向上について区の説明がございま

したけれども、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

一番近いところから、新家委員。

○新家委員　　今、区役所の方のご説明をお聞きしまして、前年度の目標を大体クリアしているということ、数字だけでしたらそのように感じました。よかったなと思います。去年は参加しなかったもので、あまりこの問題には詳しくはないんですが、数字だけ見ますとよかったと思います。なおかつ今年もまた来年に向けてどんどん数字を上げるようにしていっていただきたいと思います。

それと、他地域との連携ですね、災害が大きく今叫ばれていますので、もしものためのために、そのような場合に役に立つように、他地域との連携だけじゃなくて、大きな連携が保てるようになったらいいなと思います。

○松山議長　　災害といえば、今里地域の方はちょっと岡本委員は欠席でございますけれども、やはり今里地域が一番進んでいるように思うんです。まだ私ども東小橋の方では、皆様から今2地域で目標達成があったみたいでございますけれども、どうでしょう、今、今里の。

○田中委員　　今は災害の問題は、僕ら普通かと思っているんですけども、この春ちょっと今里小学校の教頭先生がちょっと東小路の小学校に校長で栄転されて行かれて、この間ちょっとお会いする機会があって、小路の方はどうですかと言うたら、災害の取組み、あれ全然今里と桁が違うと、ひとつもやっていないような感じで、今からやるというふうな発想ですというお話を聞いた。

○松山議長　　生野の小路。

○田中委員　　へえ、そんな桁が違うのかなと、自分らではやっていることが普通やと思いますので、進んでいると思わないけれども、今年は小学校、今建替えて校庭が使えないものやから、災害の訓練を予定しておったんやけれども、年内は校庭は一切使ったらいかんということを校長先生が言われたということで、昨日か一昨日、取止めにするということを決めておりまして、できない。そうやから、他でちょっとしよ

うかなと思っておったんやけれども、やっぱりちょっとそれは無理やと。そうやから、新しい方法を考えてみるというのが役員の考えでした、今のところは。そうやから、やっぱり今でも大阪はこの辺の差があるんかいなというのを初めて知って。我々は自分のためやと思ってやっているから、人のためじゃなしで。そうやからこういうことを皆さんに浸透していくような方法ができたものだから、僕は普通かいなと思っているんやけど。

○松山議長　　今里というと町並みも古いし、中へ入っていくと道も非常に矮小というか、込んでいるし、本当に訓練が必要なところかなと思いますけれども、収容避難所運営訓練２地域というのはどことどこなんですか。

○原課長　　今里地域ともう一つは深江地域でございます。今里地域におかれましては、今回初めてということではなしに、もう何年も前から避難所を開いたときに、地域の本部、災害対策本部を立ち上げて、そこからいろんな状況を把握したり、指示、命令など、必要なことを訓練のたびにされていまして、その一環として、今回はより小学校も使いながら避難所運営訓練ということでされたところでございます。

深江の地域は、実際に訓練を９月にする前にワークショップといいますか、話し合いをした上で、どんなふうに避難所を使っていくのかというのを共通認識していただいた上で避難所の運営訓練を少ししていただいた、その２地域でございます。

○松山議長　　結局、ここに書かれているような１カ月から３カ月の避難生活を想定した訓練ですね、また地域によってそれぞれ事情も違ってくると思うんですけれども、東小橋のような大きいターミナルの近くということになりますと、自分のところの地域だけの人じゃなくて、電車に乗換えの方たちも来られる可能性があると思うんですけれども、吉田委員、どんなものでしょう。

○吉田委員　　各校下かなりの温度差を感じるんですけど、やはり僕らから見ても今里とか、神路、かなり路地の細いところがたくさんございますので、やはり消防車も何か火災があっても入りにくいというようなところはたくさんあるように思うんです。

それで、今、普段は軽四に乗っていますけども、やはり東成、まだまだ道が狭いところはたくさんあるんです。だから、もう何か熊本みたいな地震があればとんでもないことになるのと違うかなというような危惧はしているんですけども。

○松山議長　熊本で地震が起こったと、確率からすれば熊本地域、九州の中心地域はそれほど高くなかった。地震保険なんかも大阪なんかに比べてまだ安い、随分安い設定されていたという地域なんですけれども、やはり当初の。

○吉田委員　加入率が低いんやな。

○松山議長　混乱というのはすごかったと思うんですけども、どうでしょう、ここで今日は深江さんがいらっしゃらないので、どの程度進んでいるかというのは、大成なんか一番しっかりした地域ですけど、どんなものでしょう。

○岡坂委員　地域でもやっているんやけど、やはり今のところは子どもたちをを引き込んでやるという計画を立てています。防災の管理とか。

○松山議長　そうですね、ただし、この会議が始まる前に少しお話があったんですけども、中学校下でそういう震災訓練をしてはどうか。8年か10年前かわかりませんが、随分経っていますけれども、昔参加させていただいた時はよかったのになというそんな感じは持っているんですけど、実際これからいつ起こるかわからない、もう随分南海・東南海、それから、地震が高まってきていますけれども、実際に前に立って頑張ってもらうのは小学生、中学生が中心かなと思って。

○岡坂委員　小学生の高学年に行ってもらって、土曜授業ということで、ただし、保護者も来てもらうことになる、事故したとき困るので、ということでなかなか二の足を踏むんです。親子でということになると。そうやから、それも何か一つ作って、防災委員とかいう名目で渡して、そんなものを作ってやるとまた子どもたちも力になるやろうということで、防災部長は考えている。

○松山議長　去年ですか、土曜日授業を利用して防犯教室をやりましたね。中本小学校、一緒にちょっと大々的にさせていただいて、非常に大きな子どもたち、非常に

協力的で一生懸命参加していただいていたと思うんですけども、そういう小学校の土曜日授業を利用した防災であるとか、防犯教室というもの。

○岡坂委員　子どもたちは出てくるけど、大人が参加しない。子どもたちとマップを作って、どこが危険か、どこを通ったらいいかということと一緒に回ってやったらいいんですけど、なかなか。

○松山議長　岡坂委員は防犯の方ですけども、大成は防犯では他の地域よりも大分進んでいるように思うんですけど。

○岡坂委員　登校、下校は必ずやっています。

○松山議長　それと、月に2回ですか。

○岡坂委員　月に第2、第4の夜、パトロールをやっています。

○田中委員　今里の場合は、一番頼りになるのは中学のいわゆる年長、高学年だろうということで、中学の先生の方とそういうお話をすると、やっぱり中学はどうしても進学という問題があって、親御さんなんかなかなかついてうんと言うてくれへんわけです。一番震災が起きた時は、やっぱり中学が動いておる、大学になったらよそへ出ているというのが、そういうことで、頼りにして大分話し合いしてんけど前へ進んでいないというのが現実やね、やっぱり、先生の方がちょっと遠慮してはる。

○松山議長　そうですね、もう運動会というのか、体育祭もみんな9月とか、そういう。

○田中委員　ちょっと難しい問題があって、それを協力できるんかというやっぱり震災の問題はやっぱり自分のことやから、それを前に押していかんと仕方がない。個々の意識を持ってもらって、そうやから、案外、今里の家の密集したところでも火災は起きないのは、やっぱり年寄りさんがそういうことをよく認識してはるから、非常によく知ってはる。かえって若い子が天ぷら揚げていて、ご飯食べてたら炊事場でこないだも火事や。もう寸前やってんけども火が出たということで、消し忘れたということで、年を聞いていたら随分若いのに、我々やったら忘れることもあるんやけど。

やっぱりそういうこともあるから、年寄りさんの方がかえって神経使ってはるわ。そうやから、若い人の方がええかげんといったら言葉悪いけど、やっぱりちょっとうっかりしてはるんやろうなという感じがします。そうやから、こういう災害、災難はもう自分のためですよということで、普段こういうことをしたいから参加してくれというキャッチフレーズつけていくと、案外みんな認識を持ってやるように思うんやけど。

○松山議長　市田委員、どんなものでしょう。女性からの目もあるだろうと思いますけど。

○市田委員　宝栄は比較的細い道路の狭いところのお家というのはあんまり少ない。そして、東陽中学、宝栄小学校、阪陽公園と神路公園、深江公園とはちょっとあれですけど、比較的そういうところが宝栄で中にあるから、連長も防災についてなかなか力を入れておられますので、宝栄はうまくいっているのと違うかな。

○松山議長　女性会の方もしっかりしておられる。

○市田委員　女性会もみんなお手伝いは。

○松山議長　梅本委員さん、どんなものでしょう。

○梅本委員　私、深江なんです。

○松山議長　ああ、すみません。

○梅本委員　何か町会の方で物資、チキンラーメンとペットボトルを配られました。

○松山議長　震災訓練の。

○梅本委員　訓練じゃなくて、備蓄という形で、そういう意識を高めようというこ
とで。15町会だけかもしれません。

○吉田委員　各戸に配布。

○梅本委員　家にチキンラーメン5袋と2リットルのペットボトルが配られていました。今はないですが。

○吉田委員　ああ、すごいな。

○梅本委員　いいですか、ちょっと安全・安心というところで、ここ最近私の身の

回りに起きたので、安全の面で自転車事故というものがすごく多くて、深江の方でも若い子にぶつけられています。ぶつけられる方は年配で反射神経がないから、ぶつけた方は若いから全然怪我もなく何もないという状況で。それで私も自転車乗っていますが、若い人10人中半数以上はこうスマートフォンを持ったまま運転中にハンドルに腕をかけているとかして、それでびゅんびゅん走っていますでしょう。信号も全く無視ですね。ロータリーのところは以前注意されていました、無視したと。そうやから、安全・安心というところで一番年配層が今怖いのは自転車と違うかなと。自転車事故が今保険に入らなあかんということになったけど、保険入っても年いってから怪我したら、なかなか致命傷になる場合があるんですよね、そこから衰えてきて、一気にいろんなことが進んでいくのがあるので、やっぱり自転車の対策というんですか。防犯、犯罪に対しては抑止力で働いていいけども、自転車事故なんか前もらったと思うんやけども、その辺ちょっと4月、5月で立て続けに狭い地域で2件も聞いたら、しかも年配層が、若い子がもう大体そういう事故を起こすんと違うかなというぐらいいつもからスピード出していた子なんですって。その思っている子にぶつけられた言うて、そうやから、その辺ちょっとものすごい自転車や、区役所の前でもびゃっと思っていますよね。

○松山議長　　今やっぱり一番事故で問題になっているのは自転車同士、自転車と歩行者、あるいは、自転車と自動車というものがすごく大きな問題になっている。警察のほうでもちょっと取り締まりみたいなのを横で見ていたんですけれども、自転車に乗っている人の意識というのはやっぱりちょっと軽いというか。

○岡坂委員　　この間ちょっとうちのところでもあったんやけど、ちょっと当たったということでこけているんやけども、それで、どうかといって、若い子やから大丈夫やと、お年寄りの人やから、あかん、ちょっと待ってと止めて。止めてもう警察呼ぶから、そないせんことには、後でその時大丈夫やと言うて起きて歩いても、大丈夫やと言っているけども後引きよるからね。もう若い子はぼっというてどうもないと聞い

たらふつと行ってしまうから。信号無視が多い。

○松山議長 信号無視も多いし。

○岡坂委員 それと、子どもを前に乗せて、送り迎えするのに、それでスマホ見もってやから、それは笛吹いて止めたんやけど、そんなもの我々やるのはただ注意する程度で、何も権限があるわけじゃないし。

○梅本委員 自転車といったら道路交通法というのに。

○岡坂委員 規定される。

○吉田委員 車両やからね。

○梅本委員 やっぱりその辺の学校でこの防災の訓練すると、昔ありました、自転車に乗る。今もあるんですか。

○松山議長 小学校で。

○梅本委員 そういう時、大人も。

○吉田委員 安全対策の時にやっていますものね。

○梅本委員 大人もね。

○松山議長 入学した時もちゃんと警察が。

○岡坂委員 交通ルールとか教えるから。

○松山議長 交通課から来てちゃんとやっているんですけれども。車と一緒になんだけれども、反対の方から、もう信号。

○岡坂委員 公道でも3メートル以上のところは本当は60歳。

○梅本委員 70歳。

○岡坂委員 70歳か、以上の人でなかったら走ったらだめ、車道を走れ。そんなものお構いなしです。

○梅本委員 自転車はいろいろ後ろからでよく危険やと言うている割には、自転車の装備といったら、ものすごい安全が図られへんような装備でしょう。普通車やったら前を見ながら後ろ見られるという。

- 吉田委員 ミラーがあるからね。
- 梅本委員 昔、自転車にミラーありましたね。
- 吉田委員 あった、あった。
- 梅本委員 あれが何でなくなったのかわからへん。
- 吉田委員 要らんものつけたら高くつくから。
- 梅本委員 何かそういう安全な。
- 松山議長 また、自転車の事故、あるいは、それについての防犯のほうからも。
- 吉田委員 大きな防災、このごろ朝でもお巡りさん、出ているんです。本当1時間ほどやけど。朝8時から9時ごろまで。
- 岡坂委員 区の交通安全の期間だけです。
- 松山議長 また、区役所の方からも警察の方へよろしくお願いします。
- 吉田委員 もう言うてる間にヘルメットもかぶらなくなる。
- 岡坂委員 それはもうなってくるやろうな。
- 吉田委員 もう言うてる間やと思う。
- 松山議長 小さい子はもう本当に自衛措置としてね。
- 吉田委員 自転車もスピード出るもん、今の。
- 松山議長 他に何かございませんでしょうか。どうぞ。
- 岡坂委員 青色パトロールなんですけど、ちょっとお願いしておきたいんです。公園なんか、ずっと巡回してくれるのはありがたいんです。ずっと素通りじゃなくて、公園なんかちょっと3分でも5分でも止めて鳴らしてやると抑止にもなるし。公園とか橋のところとか、いろんなところでちょっと置いてもらって。
- 原課長 わかりました。幾つかのところでは重点的に少し止めてというのをしているんですけども、ご意見を受けてまたよりそういうふうに。
- 吉田委員 あれもうちょっと声が大きくなれへんの。大きくしたらあかんの。
- 岡坂委員 あまり大きくすると。

○原課長　　大き過ぎて聞こえない場合という時もあるでしょう。

○吉田委員　　聞こえへん、小さ過ぎて。

○岡坂委員　　食事とかしている時はあんまり大きいのをしますと、最近うるさいと苦情が入ってきよるんです。

○吉田委員　　うちらなんて、全然聞こえへん。

○松山議長　　今の岡坂委員の意見もそうなんですけれども、ここに書いてある見せる警戒ですね、見せる警戒、見せる防犯、これについても防犯協会でも岡坂さんのところの月に2度夜回りされているということですので、そういうふうなことを見習って、各地域の防犯支部、1回でも2回でも回っていただくように、やはり誰かが警戒しているということを、何かあればというような人は見ているから、常に何かまちにすぎがないか見ていますので。

○岡坂委員　　おかげで大体これも何年かはそういうふうな事案、子どもや女性に対しての事件は今のところない。そうやから、メールが入ってきたら、玉津と言われたらぞっとするから、すぐにまた。

○松山議長　　実際に女性に対する事案も非常に増えてきているというけれども、ニュースなんか見てみますと、女性に対しての犯罪というのはどんどんどんどんきつくなっていくみたいな感じですけども、これほど卑劣な犯罪はないということで、防犯の方にもまた岡坂委員、よろしくお願いします。

○岡坂委員　　これから特に暑くなると気になるもので。

○梅本委員　　一つ、防災でちょっと思い出してんけど、熊本地震ですごい問題になった公的な庁舎というのか、建物ですね、それとか、病院とかが本来安全でそこへ避難したり、そこから指令したりやるところが、熊本地震の時はもう使えなくなっているから、やっぱりそういう避難地域とか、指令を出すようなところというのかな、その辺がどないなっているのかな、大阪の場合。耐震化率は高いと思うんですけども、学校でもどない、学校に避難したらいいけど、学校がどうなっているのかなというの

はちょっと熊本地震で、それで今回北海道でも亀裂が入ったりとか、そんなのありました。その辺ちょっと。

○松山議長　　まず、耐震化については、昭和何年だったかな、40年代だった、見直しがあって。

○原課長　　昭和56年。

○松山議長　　それから以後に建っているやつは随分強くなっているけれども。

○田中委員　　この間の熊本でも耐震構造でやったやつがだめだった。

○梅本委員　　新しい家ほど潰れてている。

○吉田委員　　だから、向こうは火山灰が堆積しているから、想定外の力がかかったとか、見直しするとか言うてた。

○岡坂委員　　地盤がやわらかいから。

○梅本委員　　新しい家というのは、何か平行になっていないらしいです。やっぱりデザインとかいう関係で。だから、新しい家ほど潰れているというて、前テレビでやっていましたけど。

○田中委員　　ここらも一番やわらかい土地やというのは、もうわしらのおじいさんがよう言うてた。

○吉田委員　　沼地やもん。

○田中委員　　そうやから、これだけ入れて耐震してはるねんけど、よう計算せんけれどもわからへんもんな。

○吉田委員　　昨日も言うとったな、危ないでと。

○田中委員　　今里小学校は建替えしてくれているんですね。もう古いのは潰すというんで。そうやから、当然、校庭使われへんのはわかるねんけれども、100%使うことができないということをこの間から指示があったということで、それやったら仕方がないな、実際行事に取り上げようと思ったら。代わりの空き地がない。西之口公園が一つしかないから小さいですわ。

○岡坂委員　　今里も公園が少ないので。

○田中委員　　公園が少ないから。

○吉田委員　　そうやね。

○松山議長　　それと、地震保険というのはよく言われているんですけども、国がどのくらい関わっているのか、よくわからないんですけども。

○田中委員　　掛けても丸々おりませんから。

○松山議長　　今長期で、一番長期で5年ですよ。保険が短くなって、普通の火災保険は10年ほどで、地震保険は5年で、なおかつ全額出ないということで、それにも増して地震保険の金額が高い。ということでなかなかこの中でも地震保険に入っておられる方。

○梅本委員　　入っているんでしょう。

○松山議長　　いや入っておられるのかな。

○細谷委員　　大体火災保険の半額の保証というので私ら入っています。

○松山議長　　掛金は倍以上。

○細谷委員　　掛金もそうやけどそんなにいうほどの普通の民間の家ですけど。

○松山議長　　だから、会社とか、損金で落ちるところは潰れたら会社が潰れるということもあるから、損金で落ちるからやる。なかなか家庭じゃあ、地震保険入ろうといったら、ちょっと考えるというところ、ここに20人余りいらっしやっても、うちは入っているよとちょっと手を挙げてくれる人はいないと思っています。大阪というのは中間ぐらいかな、1,000万円に対してなんぼだったかな。

○田中委員　　案外、大阪は今まで災害はそういう大きな災害はおまへんのや。だから、案外皆、安心というのか、安易に思っている、安易に。

○松山議長　　保険会社と国とやって金額を出してちゃんとやっているんだけど、あれだけ潰れて何やかんやというたら、国がもうちょっと地震保険に前向きになっていただいたらどうかなと僕なんか思うんですけど。

ほかに、細谷委員、いかがでしょうか。

○細谷委員　神路の場合はもう私も避難訓練に参加させてもらいながら、いつも不信というか、心配というか、これがほんまに現実に活かされるんじゃないという、本当に決まりきったことをしなければいけないみたいな、現実を受けた時にはもう学校なんか入り切れない、まして、道幅今委員がおっしゃったように道幅狭い、そうしたら、火が出てくる。まずそうやから自分が逃げることを考えることを皆で話し合っているけど、現実に火事が起きた時はどうするかとか、古いお家の中にほんと新しいお家ができているけども、ここが燃えてきて、ここも燃えたらここだけ新しくなったかて逃げ道がないとか、すごい神路でも特別道幅が狭いですから。

○岡坂委員　熊本地震でも火事がなかったから。

○吉田委員　本当、本当。

○細谷委員　うちらはもうほんま区なんか特にまず火の手があがってしもうて、長期なんかになってきたら仮設住宅を造ってもらう場所もなければ、熊野さんの前にある大今里公園か、神路ふれあい会館の横にある大今里ふれあい公園。100人も立てへん。学校教室のもあれやってもらっていても、もう入れない。それが毎回。

○吉田委員　軽四かつかつというところがようけあるもん。

○細谷委員　本当にやりながら、本当に厳しい現実が、責任者の人にも深く突っ込まんといてと言われるほどに結論が出ないというか、校長先生にも、いや、学校もわかりませんと言うて、ほんまそういう現実がこれもう本当。ここも区役所も前建てかえ、あれの時に議員さんに聞いたら、何年かだけの年数が足らないと建替えができないという、3年ぐらいの年数とかおっしゃってました。その年数に満たなかったら建て替えもできない、この大きな公共施設だから。これになってこれだけのお金をかけて、みんな聞きましたけど。だから、とてもないけどもう。

○岡坂委員　区民センターは管理はどこがしている。

○森本区長　うちが指定管理者に代行してもらっています。

○吉田委員 あの土地はあれやろう、大阪市やな。

○岡坂委員 前、避難する場合でも、あそこでも避難ができんことはないと思う。

○森本区長 災害時はボランティアセンターとなります。

○原課長 区役所の取決めではボランティアセンターに使おうということで、避難所には指定はしておらないんです。

○吉田委員 あの地下に、地下鉄の車庫もあるやん。

○原課長 引き込み線は入っています。

○吉田委員 入っているやろう、その下にまだ貯水池があるんやろう。

○原課長 貯水、その下にですか。

○吉田委員 前するようなことを言うと思ったやん。

○原課長 すみません、ちょっとわからない。

○森本区長 1回また聞いてみます。

○松山議長 同じような訓練でも、訓練を受けている人と全然受けていない人の差は非常にあると思います。今、細谷委員がおっしゃったように、常に危機感というのを、これが大事だと思います。今里でも年寄りの人が割と火とかそういうものに対していつも敏感になっているというのは、やはり細い道、小さな家がたくさん建っている、それも木造であるということで、火事を一旦出してしまうと大火になる可能性があるという危機感があるのだと思います。

皆さん、どうもありがとうございました。いろいろまだまだご意見はあると思いますけれども、次の議題に移らせていただきます。よろしいですか。

○北岸委員 ちょっとだけ、途中から来ましたので、どこからのお話というか、ちょっと区役所の方にお聞きしたいんですけど、中央大通りのところのオレンジの自転車道がありますよね。自転車が、昔は自転車の通る道だったんです。

○原課長 歩道のところにある。

○北岸委員 歩道の成人病センターのところ、考えてもらったら成人病センターの

隣のオレンジが、前は自転車の道だったんです。こういうのが何か昔は着いていたんですけど、自転車の何か。それがなくなっているんです。いつからかそこが人の道になったのか、自転車の道であるかというお知らせ、後でまたいつでもいいからお知らせしていただきたい。ただ、あそこの道を、だんだんだんだんと自転車で当然行かなあかん道を皆さんもわからないから歩くということをしたら、自転車の道がどこなのかというのがわからないということです。

それと1点、もう一つ、中央分離帯の真ん中がないところ、区長に一度来ていただいたんですが、交差点、あの辺で障がい者の人が渡り切れない、分離帯がなかったら、信号のところ。そうしたら、うちの主人なんかは今はもうだめですけど、先に信号が赤の時にちょっと行っていて、それで向こうへ行くとかしなかったら途中で届かない。

○岡坂委員 距離の長いところはね。

○北岸委員 そんなのがあったりするのをちょっとお聞きしようかな。これは全体のことやからちょっとあれなんですけど。それと。

○岡坂委員 歩道と自転車道とあるのは、自転車の場合は車道の方を走る、歩道の上を走るようになってるねん。

○北岸委員 いや、あの中央のところは違うんです。もともとできた時にはせめてこのところは自転車の道ということで拡張していただいた。

○岡坂委員 今里筋もそういうふうになっているものね。

○松山議長 歩道とは別に自転車専用道路というやつですね、それができていたのに。

○北岸委員 今はそういう表示とかないから、皆さんそこを全部歩道として通られている。

○吉田委員 昔、歩道には茶色いね、茶色かオレンジか知らんけど、あったんやけど、今なくなっている。

○北岸委員 そこに自転車の知らんうちになくなっているんです。だから、ここも

もう普通に道として通れるものであるのかどうかというのがわかりません。

○吉田委員 あれ、警察に言うたら、自転車も車両やから、同じ方向で一番歩道寄りに走る。

○北岸委員 大通りですか。

○吉田委員 全部、どの道も全部。

○北岸委員 あそこ、それを造った経緯はもともと分かっていますので、そこら辺の変わったところをお願いします。

○森本区長 調べておきます。

○吉田委員 確かそない言いはると思う。

○北岸委員 それと、公園のここの中にちょっと読ませていただいた中で、公園の防犯灯か何か書いてありましたね、公園じゃなしに防犯灯をこれから。

○原課長 防犯カメラ。

○北岸委員 カメラね。ああいうのをやっぱり公園には付けていただきたい。聞いたら、北中でも学校では使用人数が足りないのも、震災訓練の時でも、公園を一時集合場所とか、皆さん、お家に帰っている時はいいけど、もしお昼にお母さんが働きに行っていて、子どもさんがその辺で遊んでいて、でもここやったら震災が起こった時に、ここやったら避難場所としていけますよということを、北中はそういう方向でやっているんですけど、だからそのところの防犯カメラとかの設置、しっかり読んでいないんやけど。

○岡坂委員 さっきの説明では3年間で。

○原課長 3年間で1,000台を、大阪市全体ですけども。

○北岸委員 それは地域負担。

○原課長 いえいえ、大阪市で。

○北岸委員 全額。

○原課長 設置して、管理も大阪市で行うというのが1,000台です。でも3年

間ですから、そのうち1,000台のうち350台については公園に付けようという方針で、今、警察署、大阪府警からこういうところに付けたら効果的ですよというのをリストアップしていただいて、市民局でどこに付けるかというのを、調整しているところです。今年度については350台、市内全部で350台ですから、東成区で10台程度、何台かまだ分からないですけども付けていく。

○北岸委員　公園というたら、真田山公園事務所管轄ですよ。公園愛護会がありまして、私ら公園を震災のために守らなアカんのやったら、ちょっとでも清掃しないかと違うかなというので、そういう形で女性会も全部あそこのお掃除とかも協力しているんですけど、そこを一時集合場所とかいうのにはもう勝手にして。それから、またお願いして造るということなんです。

○田中委員　集合場所。

○原課長　一時集合場所は既に北中道を、町会ごとに決められていますよね。

○北岸委員　はい、それはもうそれはそれでいいんですね。

○原課長　もし変更するのであれば、もちろん変更していただいて結構ですし、地域というか、町会で考えて決めていただいたら結構です。

○北岸委員　幼稚園のありがとうございました。何十年と言い続けてやっと避難場所にいただきました。そういうことをやっぱり言い続けるということは北中道幼稚園、ほんまに避難場所にしてくれてありがたいんですよ。そうやから。

○吉田委員　管理が大変やで、管理。

○北岸委員　それも物資が学校に集まるんです。避難場所としてしていただいたら。

○原課長　幼稚園には置くスペースがないですから。

○北岸委員　スペースがなかったら学校に同じものが届くということで。それお礼言います。ありがとうございます。

○松山議長　今年度中にひょっとしたら1校下1つぐらいの防犯カメラ。

○森本区長　1校下1つは、市じゃなくて区の予算で学校の子どもたちのために学

校の近くに1台ずつというのは区の予算でやります。

○吉田委員 区と市。

○松山議長 区と二本立てね。

○吉田委員 二本立てやねん。

○森本区長 そうですね。区は予算がないので、何に重点を置くかというのはほとんど一つ校区しかできなかったもので、今年は頑張って1地域1台、付けようかと考えていましたら、市が付けるとなって、1,000台を付けますとなっているので、区の方はひとまず学校の校区で、学校を中心に、また地域とも場所がたくさん、学校のところの近くへということで、うちもできたら予算を何年間か続けたいので、ひとまず。

○北岸委員 私ら、カメラをもらったときに、一番子どもが大事やからというて学校に付けたんです。それで、また学校と言われたら、今度はこの1台は学校に付いていたら公園の方とか、そんなのはお願いはできないんですよ。

○吉田委員 それはまた校長先生と話ししたらよろしいねん。

○原課長 またそれぞれ地域のご意向にも。

○吉田委員 うちらでも2台ついてあるねんからね。現状も踏まえて聞かせていただきながら。

○松山議長 とりあえず子どもの安全というところから、子どもは地域の宝でございますので、これからもよろしくお願いします。

それでは、ありがとうございました。議題の2に移らせていただきます。

議題2といたしましては、この部会で議論していくテーマでございますけれども、昨年の第1回目の部会におきまして、この部会で検討するテーマを決めさせていただきました。最初に、区長のほうからもお話ございましたけれども、「にぎわいづくりについて」ということでございます。この部会ではこのテーマについてより深く議論を行い、区役所で取り組めることがあれば、この部会として意見を取りまとめて、

提言と申しますか、区長へ出された意見を伝えてまいりたいと、このように思っております。また、にぎわいづくりに関しまして、それぞれの地域でこんなことに困っているといった課題や、また、こうすればよくなるのではないかといったような要望、また、改善のアイデアなど、もしありましたら出していただきまして、最後に部会として意見を取りまとめてまいりたいと思います。

それでは、にぎわいづくりについて、ご意見ございましたらよろしくお願いいたします。

市田委員、どんなものでしょう。

○市田委員　　まだ今考え中、ちょっと待ってください。

○森本区長　　そうしたら、去年部会の方で、例えば、部会で少しまち歩きといいですか、商店街の活性化も必要ですし、地域のことを自分たちが知っておかなあかんで、ちょっとまち歩きをしたいなみたいなお話があったと思いますので、そういうことをやるのであれば、そういう意見などもいただいてもいいかなと思います。

○松山議長　　自分のまちで自分たちが気づけへんようなところとか、良いのは分かっているねんけれど、他の地域から見たら本当にうらやましいようなところがたくさんあると思います。自分たちのまちを再確認するためにも一度まち歩きすればいいのではないかというような意見が昨年度出ておりまして、先ほど資料を配らせていただきましたのはそういう意味もあって、本当に深江はすごいですよね、梅本委員。

○梅本委員　　福祉の何かやってはりました、あまり関わっていないけど、福祉のやってはりますね。

○松山議長　　だから、天王寺区なんかの歴史の散歩道と同じで、部会なんていうのはそのまま震災に向けて残しているみたいですし、ひょっとしたら昔のまま人情とか、文化、伝統だけじゃなくて、人情なんかも大昔のまま残っているのではないかと思うぐらいなので。

○梅本委員　　私が深江に来たときは、３０年、４０年前、小学校の先生がここはま

ちを歩いていてもみんな声をかけてくるというて、それだけ古い人がたくさんいてる。私もマンションに住んでいるねんけども、地域と関係ない人はいてないんです。誰か親戚がそこら中にいてる、マンションやけど。もうみんな周りの人が寄ってくるというのか、子どもが帰ってくるとか、そういうのはありますけど。それだけきれいけど、筋はきれい、深江の南2丁目、3丁目は私らでも迷うけど。割と子どもが帰ってきているような感じがしますね。私らの子どもがまた深江の地域に、結構そんなのが多いです。

○松山議長　　何か僕ら外から見ていたら、助け合いの仕方がちょっと違うのとかやうかいなというような、もう本当に深い助け合いがすごく深く感じるんですけど。

○梅本委員　　深入りに関わっていないから。本家、分家はようけあるんですね、深江の村には。でも本家はだんだんなくなって行って、もう新しい建て売りができているところが、稲荷神社の近くなんか特にそういうふうになってきているから。もうお年寄り、本家の人がお年寄りになってきてはるからだんだんと。でも他と違って割とつながりはやっぱりあるやろうね。深江村といわれてたけど、だんだん村はなくなっている。

○松山議長　　でも、実際、昔の村はなかなか入りにくいというような感じだったけれども。

○梅本委員　　それはもう私も他所から来たときは思いました。わあ、こんなの入られへん、でもどっぴりつかっている。

○松山議長　　大成、どんなものです、にぎわいづくりという面から見たら。

○岡坂委員　　昔のものはないねんね、これという。松下幸之助の起業の発祥の地域くらいで。やるところがなかったら、この近くやということ。

○松山議長　　小川さんは、大阪あそ歩ですか、日曜日にずっと地域資源をずっと回っておられたときの旗振りやってはりましたね、一番前に立って。それで、松下幸之助の起業の地、その中でも連れていってもらったら近くの長屋に住んでいてとか、何

とか、まだ知ってはって、楽しいお話を聞きながら。

○吉田委員　　そうやけど、福島区に松下幸之助、創業の地と書いてある。あれは別か。

○松山議長　　違う、違う、あそこは創業でここで、東成区でちょっとそういう仕事を始めたという。

○吉田委員　　えらい、すごい看板がかかっていたで。

○松山議長　　そう、そう。福島はそれでちゃんと。ここは起業というより、ちょっと仕事を始めたということ。

○吉田委員　　ちょっと内職みたいなのをしてるねんな。向こうはえらい大々的にやっていたから、ああ、こんなところがあるのかと思って。

○松山議長　　それも一つのにぎわいづくりの一つで、地域資源、あちこちにあるものを巡ったりとか、知ったりとか。

○岡坂委員　　ヤン・ソギルの「地と骨」の舞台。

○松山議長　　あれは映画になっていますね。戦争のころから。主演がビートたけしさんですね。朝鮮の方からきて、大成で、あそこに住んでということですね。

○岡坂委員　　あそこの信号、玉津、剣橋の信号入って1つ目や。

○松山議長　　今もまだ長屋みたいな。

○岡坂委員　　建物はそのまま。

○松山議長　　そのまま。

○岡坂委員　　別の人に住んでいるけど、ここやったんやというのが。

○松山議長　　だから、あれはもう今からいうたら、70年前のやつがまだあるというここと。

○岡坂委員　　あれは建物も100年近くになっているから。平家ですね。

○松山議長　　そういうところから見たら、深江はすばらしいなと思いますけれども、うちの東小橋の比売許曾神社なんかのところも当時聞くと、なかなか住んでたという

か。

○岡坂委員 比売許曾神社ね。

○松山議長 そうです、比売許曾神社。

○吉田委員 やはり東成で多分一番古いと思います。古事記にも載っているし。それで、一番有名なのは、太閤さんの検地書、税金とるための、土地をはかりよったんや、年貢をとるための。あれがあるの。一応今もう大阪の歴史博物館かな、預けていますけど、もう放っておいても傷むばかりやから、もう向こうで管理してもらった方が。だから、太閤さんの検地書が今、重文までいけへんけどちょっと手前までいってるねん。この間ちょっと1冊本みたいに書いていました。もうちょっとで重要文化財になると思います。

○松山議長 比売許曾神社というぐらいやから、姫といたら女の人の神様ですね。

○吉田委員 インターネットで検索しても、比売許曾神社は2つしかない。九州に1個と。そうやから、卑弥呼さんあるやん、ああいう流れ違うかなというような気もするねんけども、僕らそんなの研究しようかな。2つしかない。

○松山議長 そうですね。

○吉田委員 そんなら何やら稲荷神社とか、いろいろあるやん。ああいうのは全部山ほどあるねん。八坂神社という名前も全部山ほどあるねん。比売許曾神社というのは2つしかない。

○梅本委員 前に何かテレビで放映していて、比売許曾、やっていたな。

○松山議長 地域のにぎわいづくりというのからすれば、どうでしょう。

○梅本委員 私、前のときに言ってんけど、やっぱり商店街というのは、私らも新道だけじゃなくて、北中道にありましたよね、商店街。崩れた何か、雨降ってそこら辺でアーケード。

○松山議長 肉屋さんが2件ぐらいあるところですね。

○北岸委員 商店街で昔作りはって、自分らのお金でつくりはった人がもう亡くな

りはって、お金も商店街の費用も全部ゼロになったの。だから、ここの建物が地震い
ったら誰か人が亡くなるやろうなと思うようないがんだ建物のこれをさわられへんね
ん、みんな家が潰れるから。そうやから、あそこは個人的に商店街を作ったところや。
前に田中委員がおっしゃっていたけど、お肉屋さんの前に広げはったらどうですかと
いうて。

○吉田委員　市場があって、今マンションになっていますやん。北中道のかどにあ
ってアーケードになっていましたやん。もう今、あれが。

○北岸委員　あれ潰れますよ、いつか。

○吉田委員　大概古いよね。

○北岸委員　もうさわれないです。それをさわったら全部そこの軒先の家が潰れる
から。そうやけど危険は危険ですねんけど、1回区役所に言ったことがあるんですけ
ど、だめですね。でも本当に危険なんです。

○松山議長　テントも破れた状態ですよ。

○梅本委員　空き店舗の補助金でやっていても、何か1日借りるレンタルみたいな、
そういうのはできへんのかなという。それで、自転車は歩いて通れるように自転車置
き場みたいなのが途中に作ってくれる。

○北岸委員　こんなところにも商店街がある、そこもやっぱり活性化に向けて。

○梅本委員　自転車通れないからだめよ、私ら遠いところから行くのに。自転車が
今問題になっていますやん。天神橋のあそこは結構押してなっていますけれど。だけ
ど、置くところがないと、そんな遠いところからようけ来てもらうので、置くところ
が駐輪場がないとあかんで。そうやから、もっと何を東成で売り出そうかというのを、
こういう歴史の町やったら、平野なんか結構、平野のまちに割と観光、結構多いんで
す。

○松山議長　あそこも神社とか、何とかとりこんで。

○梅本委員　神社があるんです。神社か何か。割とそういう入れるところ、それで、

こういう民家で深江にもありますやんか、人間国宝の茶釜のそういうところが入れたりとか、やっぱりそういうふうに見光客とか、地域の人も私は前、ここを歩いてずっと長田のほうまで行ったことがあるんですけど、やっぱり何をぽんとイベントじゃなくて、日々人がにぎわうような状況を考えられてきたのかなと、みんなで。

○細谷委員　でも、新道の商店街は接骨通りというぐらい、もうお店ができる、きれいにしてはるなと思ったら接骨院。もうあれは接骨通り、本当に3軒、5軒行ったらもう、この間も1軒増えていました。うちらでもわかるけど、孫でも、大学の孫でも行っていますけど商店街は行かないんです。新道商店街、もう何年来。だから、やっぱり魅力がないか、自分たちの好むようなものが置いていないのか、そこらが、接骨院ができるということは、お年寄りばかり、我々ばかりが行くから、やっぱり若い人に目を向けられない魅力のない商店街というか。だから、私いつも思うんやけど、やっぱり中学生ぐらいの人らにあの新道とかああいうところを、どうしたら若い人の活性化になるかと、知恵をもらわなかったら、我々が幾ら知恵を出しても、もう接骨しかないです。どこがいいとか、ようもんでくれるとか、そういう話題で、何かもうちょっと中学生ぐらいの人にですよ、すごいですもん。この間もまた1軒できたもん。

○梅本委員　福島というのはものすごい今食べ物で。

○細谷委員　それはもうすぐ歩いていけますもの。

○梅本委員　あそこはやっぱり若い世代が、それで、業種間で同じ業種を絶対、お好み焼き屋を1軒作ったら作らないんですって。そういうルールというのを決めて。

○細谷委員　でも新道もイタリアンの良い店ができたんですよ、中道小学校の近くに。けどやっぱりもう何年か頑張ってもらったけど、すごくおいしかったんだけど、パスタもあって、ところが潰れてよそへ移転してそこではやっているねん。だから、人が寄らないんですね。ずっと食事行くところのあれもない、うどん屋さんがあってもおしゃれなあれが100円、わかるでしょう、もうあそこしかないもんね。

もうちょっと炉端でも、居酒屋さんでもおしゃれなのがやってくれはったらもっというと思うけど、ほんま、行くところがないものね。

○梅本委員　北区の方は、アーケードをとってから、盛り上がってきたところもあるんやね。

○松山議長　一つアーケードについては、今年国の施策で外れておりまして、商店街に対する助成金はゼロになっているんです。去年までは3分の2か何か出るという。それでも3分の1は自己負担だから、だから今、北岸委員のところもその資金がないとできないということと、実際、裏なんばであるとか、今の福島駅の近く、それと、天神橋、若者がたくさん集まってすごい繁盛しているけれども、世代間の格差というか、やっぱり今おっしゃったちょっと商店街の商売の仕方に若い人がついて来れない。それと、生活様式がもう大分違っているということ、飲んだり食べたりするのは好きなんだけど、作って食べたりするのがもう一つという若い方がおられる。それと、何か聞いていると、うちの東小橋で聞いていても、奥さんと旦那さんが食事の曜日を決めて、奥さん4回やったら、旦那さんも2回夜の食事の当番になる。今はそれが普通になっているみたいで、現実はこうなんです。それで、商店街でもはっきり言うと、若い人が経営されているところはそれなりに繁盛してます。お年を召した方はやっぱりもしそこが借りてくれはるんやったら接骨院を借りていただいて。やっぱり団塊の世代がみんな接骨院へ行くみたい。

○北岸委員　夜店ないでしょう、夜店はあります、どこか。

○吉田委員　やっているやろう、うちも4日。

○北岸委員　みんなあるんですか。

○吉田委員　そうやけど、昔みたいにないやん、数が。五、六軒であるだけやもん。もうわびしい限り。昔なんて、うちらでも天神祭りのずっと突き当たりまであったもん。テキ屋さんも減っているのかな。やっぱりあのころは子どもも多かったから。僕らのときは1クラスやもん、小学校全部入れても。

○田中委員 あんな時分はテレビもないし、娯楽がなかったから。今もうテレビもあるわ、スマホはあるわしたら、大体無理やわ。

○吉田委員 テキ屋の費用も高いがな、僕らのときやったら10円、20円でやっていたけど。ちょっとしたら100円、500円取りよるねんもん。

○松山議長 今まで商店街でも夜店、神路の商店街、今里の商店街やっておった。

○吉田委員 神路も夜店ありましたん。

○梅本委員 今もやっていますよ。よく娘行きますよ。今でもやっています。あんドーナッツがおいしい、あんフライ。あれだけ買いに行く。

○北岸委員 北中道祭りを区民まつりの流れでやっているけど、子どもが少しでもお金を使わんように、テキ屋さんののは高いから。それで北中道はもうそれこそ安いので1日中、学校の中を確保してお祭りをしているんです。ドーナッツ屋さんにうちとこ、あんとこ、祭りの日に来てくれへんというて頼んだら、やっぱりそれはテキ屋さんの何かがあるから来られへん。そうやって人気あるから来てとって頼んでみたけども、それはだめと言われた。ありますんやろうね。そのくせ何かこんな祭りの掲示板にでも張ってはるねんね、あれは誰がしてはるのかなと思う。私らが貼ったらぺっととられるのに、地域の貼ったら、夜店の貼ってあるねん。

○吉田委員 うちらでも貼っている。

○松山議長 あれ、警察の許可をもらってはると思います。

○吉田委員 道路の使用許可はもらっています。道路使用許可をもらって、その日はリヤカーみたいなのを引っ張ってきて置いている。

○岡坂委員 あそこの向こうやろう。

○吉田委員 そうそう、あれはもうちゃんと。

○岡坂委員 あれは構めへんねん。

○北岸委員 張ったらあかんところに張ってはるね。

○吉田委員 そうやけどあれやで、うちは夜店の日は駐車せんといてくれと張って

あるよ、ずっと、夜店というて書いて。

○松山議長　東成区のにぎわいづくりで何か提言というような、夜店せなあかんいうと。

○細谷委員　中学生位の人に呼びかけて、一度学校の教材の中に入れてもらったら、我が町をどうしたら、これだけ便利のいい、交通の便もいいし、地下鉄もあり、便利のいいところやからもう少しああいう人たちの、若い人たちの意見というのか、我々限界や。

○松山議長　作文でも書いてもらって、それをここでやって1等賞、2等賞やりましょうか。中学校も4つぐらいがあるだけやから。もう年寄りの頭ではなかなか無理ですからというて若い子の知恵を借りますか。そのかわり、何かいいお話が出てきたら、そこで景品出すだけでなく、僕らが手伝って何か実現させるとか。

○梅本委員　区政だより1年分渡す。

○松山議長　北中道は一生懸命やってはるんと違います。

○北岸委員　北中道はもう任せておいてください。あと、中学生をどないして地域の方に入ってもらおうかというのはちょっと動いていますけど。うちも小さい村ですから、自分らだけで頑張らんと、外に出ていくことですよね。

○松山議長　今ちょろっと北岸委員のほうからお話がありましたように、この課題は東成区全体の課題でもあります。防災に関してもやはり若い力、中学生、田中委員のほうからもあったけれども、中学生というのはなかなか一番大事な岐路に立っている時期やから使えていないというのも、学校の方はもう少しちょっと。

○田中委員　そうやけど、勉強のことは盾に取られたら難しいわ。それやったら突っ込まれへんねん。難しい問題やなと思った。

○松山議長　修学旅行も運動会も全部時期をずらして、勉強にもってくるから。

○田中委員　高校の入試の問題にも防災を取り上げてもらったらちょっと入ってくるのかなと思う。

○北岸委員 小学校の学校の先生が土曜か日曜授業、一緒に保護者も来て、協力して今度震災訓練する。

○岡坂委員 わしのところも土曜授業やっているねんけども。

○北岸委員 学校の授業をしたら親もついてくるやろうということ。

○岡坂委員 何年目からかは寄ってくるで。

○北岸委員 先生自らがしてくれてはったから。

○岡坂委員 教頭先生はしっかりやってくれるんやけど。

○田中委員 小学校は防災には熱心やけど。

○梅本委員 中学生とか、ややこしくてあれやけど、今公園の掃除とか、どんどん女性会とか、町会がやっていますやんか。私らの時代といたら子どもがやっていたんですよね、やっぱり。常に社会参加というのをしていたんですよね。ラジオ体操といたらもう大きいところでばっと全員でやって、それで公園の掃除といたら、親よりも子どもがもう当番で公園の掃除をやると、常に地域に。

○岡坂委員 そうやけど七、八年前、小学生も公園の掃除も来ておったんやけど。

○吉田委員 いや、年に1回。

○梅本委員 今、東陽かて、年2回ぐらい来るというけど、そうやけど。

○北岸委員 公園で遊んでいるときに、私らでも掃除しているでしょう。手伝ってと言うて手伝ってくれる。それで、あんた何年の何組とって、名前聞いておいて、明日校長先生に朝礼で褒めてもうたるからなと言ったら、それからずっと来てくれる。

○梅本委員 何か親が、大人が取り過ぎている、私ずっと公園の掃除に行く度に思う。何で遊ばない私がせなあかんのかなという。だけど常に参加して、小さいときから参加するということがないと急に東成のことを考えと言われても考えられへんやろうから。やっぱり子どもができることは子どもがやる。それで、やっぱり問題点、考えていくんと違うんかなと、そうやから、大人が何でもかぶってやり過ぎではないかなというふうに思うんですけど。

○岡坂委員　公園でも今、私ところ、私もこれ２カ月やっているねんけど、大人が動物でも連れてきて、ぱっとベンチに座ってたばこを吸うために、犬を放つとるわけ。

○北岸委員　いてたらしないでしょう。

○岡坂委員　いやいや、しとったからこの前怒って、そんなんやったら、ここの公園に来んといてくれ。それで何遍かは言うたら役所のほうへ来て、役所からわしのところへ来ました、言わんといてくれ。だから、もう放している。糞でもしてもらったら片づけていかへんから。たばこの吸い殻を放っていくし、子ども連れて、子どもがお菓子を食べてそこら辺に放っても知らん顔です。

○梅本委員　そうやから、子どもが常に小さいときから、小さいというたら乳幼児じゃないけど、ある程度小学校、中学校になってきたら、夜回りってやっていますやんか、町会で夜回るのかて、町会の役員の人中心に回っているという。そういうのも昔何か私らがやったような気もするし。

○北岸委員　でも、あれかてやかましいと苦情が出たんです。

○梅本委員　そうやろうね。そうやけど、何か文句出たらやめるってね。何か文句が出たらすぐ市民が言うているからやめましようとかになるけど、やっぱりその言うてくる人には安全のためですと、行政がもうちょっと一本筋もって対応してくれたら、何でも文句言うてきたら、そんなら止めましようという部分というのがあるんと違うかなと思う。

○北岸委員　ラジオ体操でもやかましいと苦情くる。

○松山議長　今いろんな意見が出ているんですけども、もう一度役所に対してでもいいし、地域に対してでもいいし、また、商店街、やっぱりにぎわいづくりという、やはり商店街は外すわけにはいかないと思いますし、こんなことしてくれたらいいのにとか、そういう何かお話はないでしょうか。

なかなか難しいですけども、次の会はそういうことでもう少し突き詰めてお話をしたいと思っています。今、岡坂委員の方からちょっとお話が出たけれども、

公園で注意するというのもあるけれども、その人が多分役所か何かに言いに行った時には、自分のいいことを言いはって、こんな悪いやつがここにいとると。多分そういうことやから、役所は走ってそんなことは止めてくれ・・

○岡坂委員 役所と、真田山公園から。

○松山議長 実際に話を両方から聞いて、ざっと見ないとわからへんというのがあちこちにあるんですけれども、そういう話、本当によく聞くんですけれども、今、やはりまちのにぎわいを何とかしてと思ってはるのはみんな一緒ですねんけど、それをいかに具現していくかというのはなかなか難しいところであります。そんなことをしてもというようなことからでもやっぱりやっていく、ここでお話ばかりしていてもということだから、去年お話に出た一遍みんなでまち歩きでもしようかと。犬も歩けば棒に当たるじゃありませんけれども、何かいいものがまちに転がっているのではなかろうかと。何か地域資源も東成区にはたくさんあると思いますので、何かのヒントを得て、ちょっと具体化したものを区役所に提言できるようなものにしていきたいと思いますので、ぱっと来てぱっとしゃべれというたって、なかなか難しいことやけれども、次の時にはひとり歩きでもいいからまちを歩いて、やっぱりこういうふうにせんとにぎわいはもたらされへんよとかありましたらよろしく願いをいたします。

どうぞ。

○田中委員 ちょっと一つ聞きたいんですが、団体でパンフレットもって回っているねんけど、あれは役所の何か聞いて回っているわけ。それともどこかの。もうどこかで固まって、みんなグループが10人ほどずっと回っています。役所は関係なし。

○区役所 わからないですけど。

○田中委員 資料を置いてあるから、あれをもってきて回っている。

○梅本委員 内容は。

○田中委員 こういうふうなやつの場所をこういうふうな何というのか。

○吉田委員 今、真田丸のあれで、それもありますね。

○区役所　それもありますね。

○田中委員　旗もって回っています。

○田中委員　こういうような地図を1枚持って。

○松山議長　大阪、あそこもありますし、近鉄、鶴橋駅を起点にこういうのをやりますから、無料ですからここが起点ですよというのものもあるし、JRもやっていると思うし、JRは何かクラブがありますね。そういう会費をとって、ずっとやっているものもあるし。

○森本区長　鉄道会社は何かそういうのを幾つかもっておられる。

○松山議長　いっぱいあります。自分たちの知っているねんけど、あんまりふだん行かないところ、亀の橋とか、鶴の橋とか、そういうところもも含めて松下幸之助の起業の地も含めて、それと、あそこのコリアタウンも含めてとか、いろんなことで、東成区から生野にかけてはいろんな歴史の道もあるし、平野街道もあるしということをやっているのと思います。こういうことも含めて、ちょっと資料、これをいただいたけれども、この他にもしまとめられるものがあったらよろしくお願いします。

きょうは、自転車事故については、これから一番の課題でありますけれども、保険ですね、みんな保険に入らなアカンだけではやっぱり僕らも済まされないと思いますし、また、防犯カメラも1つふえたら1つ犯罪が減るのではないかと思いますし、それから、やっぱりこれからの地域、中学生、若い子、どういうふうに地域が育てていったらいいかという大きな課題もございますので、先ほど申しましたように、次、集まっていただくときには、何かで東成区のためにもうちよつとにぎわいが増すようによろしくお願いします。

○原課長　1点だけ、すみません。

○松山議長　どうぞ。

○原課長　先ほど北岸委員から質問がありました、中央大通りの歩道に自転車道、色分けしていて、上にアーム式の標識があったんだけど標識がなくなっているけ

どどうなっているかというご質問だったと思うんですけども、今確認しましたら、アーム式の標識は落下するからか、危険なので、アーム式は撤去していく方向で動いているらしいです。道路の色分けで自転車の道と歩行者。

○北岸委員 あそこは自転車ですか。

○原課長 分かるように。位置付けは何も変わっていない。

○北岸委員 そんなら、やっぱり自転車の道路とか書いてあげへんかったら、もう、工事したらもうそのオレンジだけ塗って、字がもう消えてくるともうわからないですよ。

○原課長 分かりました。また、警察、道路を管理している者とも確認しまして、対応できるようにします。

いずれにしても、梅本委員からもありましたように、自転車のマナーと言うか、問題がありますので、今ちょうど今年は北中道の小学校の子どもさんが7月でしたか、自転車のコンテストに向けて今、学校で実技も筆記も勉強されていますけど、ああいったことで、子どもの時から自転車に対する交通ルールみたいなのをきっちりと教えるようなこともこれからできないかというふうに思っていますので、また引き続きいろいろ考えていきますから、よろしくお願いします。

○北岸委員 新しい人がみんなあそこを平然と道路と思ってずっと、それこそ携帯をしながら、行き来関係なく行っていて、私ら自転車、どこを通ったらいいのかなというところが迷うところであるから、ちょっと何か明記されることがいいんと違うかなと思ったり、事故につながると思います。

○原課長 ありがとうございます。

○松山議長 じゃあ、区役所の方にマイクを返します。ありがとうございました。皆さん、どうもありがとうございました。

○中須賀課長 スムーズな議事進行にご協力をいただきまして、ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の議事を終了させていただきます。

本日、皆様方からいただきましたご意見につきましては、今後の、今年度の区政運営、あるいは、来年度の運営方針作成に当たりまして、また参考にさせていただきますと思います。

それと、部会テーマ、にぎわいづくりにつきましては、先ほど議長からありましたように、次回、より深く議論を行っていただきまして、部会としての意見をまとめていただければと思います。

第2回の部会の開催時期につきましては、8月下旬ごろを考えておりますけれども、開催日の調整、決め方につきましては改めてまた部会議長さんと相談させていただいた上で決まり次第、連絡をさせていただきます。

なお、来月の7月16日、今回土曜日に区政会議、本会議の開催を予定しておりますので、たくさんのご出席の方もお願いをいたします。

これをもちまして、終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。